

基本となる吸入指導方法

吸入器の種類*やメーカーによる説明書により、吸入手技の内容に多少違いがあり、患者が混乱を生じる可能性があるため、基本的な方法として以下の内容で統一する。

*吸入器の種類：

- ・加圧式噴霧式定量吸入器：pMDI（エアゾール全般：エアロスフィア含）
- ・ソフトミスト吸入器：SMI（レスピマット）
- ・ドライパウダー吸入器：DPI（エリプタ、ディスクス、ディスクヘラー、タービュヘイラー、ツイストヘラー、ブリーズヘラー、ハンディヘラー、ジェヌエア、スイングヘラー）

吸入手技	指導時の説明・留意点（手技確認時に注意したい9ポイントについてはセルを色表示）
開封時の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・pMDI(エアゾール全般)、SMI(レスピマット)、タービュヘイラーは開封時の試し噴霧回数、空回し回数について説明する ・毎日行う吸入手技と異なるため、初回或いは使用しなかった時のみの操作であることを説明する ・SMI(レスピマット)は、カートリッジの装着操作が可能か確認する
①薬の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・デバイスを正しく持ち操作しないと正確な1回分量がセットされない事を説明する(垂直・水平・上下) ・カウンターで残数があることを確認する(カウンターないものもある) ・キャップ・カバー・ボタン・レバーなどの操作は最後までしっかり行う ・pMDI(エアゾール全般)は全て「吸入前によく振る」<u>（統一する）</u> ・各デバイスの薬剤セット方法を説明する(各デバイス「吸入指導実施確認・報告書」の手技確認、「吸入服薬情報提供書」の手順参照)
②息吐き	<ul style="list-style-type: none"> ・息吐きをしないとしっかり吸えないことを説明する(無理のない程度でよい) ・「ホー」の口で舌を下げてのどを広げる ・吸入口には息を吹きかけないようにする
③吸入	<ul style="list-style-type: none"> ・DPIは自分の力で<u>速く深く</u>吸い込む(そばをすするイメージ) ・pMDIはポンベ、SMIはボタンを押して薬剤を噴霧し、<u>ゆっくり深く</u>吸い込む(深呼吸をするイメージ) ・ポンベを押したり回したりする指の力が弱い場合は、各デバイスに応じた補助具を使う ・口角をしっかり閉じる ・通気口を指や口でふさがない
④息止め	<ul style="list-style-type: none"> ・息止めは末梢気道や肺内での沈着率を高めるために行うことを説明する ・指折り5秒間息を止める(無理のない程度で良い)<u>（統一する）</u>
⑤息吐き	<ul style="list-style-type: none"> ・口から吐くと速くなることもあるため、鼻から息を吐き出すよう説明する ・吸入口には息を吹きかけない
⑥片付け	<ul style="list-style-type: none"> ・キャップ・カバーをする前に吸入口を拭くよう説明する ・キャップ・カバーを最後までしっかり閉じる
⑦うがい	<ul style="list-style-type: none"> ・吸入後は「カラガラ」、「ブクブク」うがいを各2回する<u>（統一する）</u>